



誰かがやらないといけないなら、  
やれることは断わらない。

本業はレストラン経営者にして料理人だが、吉岡学さんの肩書は多彩だ。誰かがやらないといけない仕事なら、できることはやると決めている。

「ドラゴンカヌー協会の会長、ノルディックウォークのインストラクター、トライアスロンや商工会の仕事も…」

龍の姿を模したカヌーで、漕ぎ手と太鼓手が息を合わせて速さを競う「東郷湖ドラゴンカヌー大会」は、今年で19回を数える。

この日は大阪からの修学旅行生の体験教室。店を臨時休業して、仲間とともにインストラクターを務めた。カヌーに乗って沖からの風を感じる。水の匂いをかく。そんな非日常体験が都会の子どもたちに喜ばれる。

「湖だけでなく、海、湖周の道、グラウンドや体育館。」

湯梨浜町にはスポーツをする環境がそろっているんです」

湯梨浜町の良いところを3つ、挙げてもらった。

まずは、「水辺での生活」。漁師でもないのに海や湖を見て暮らせる。見ているだけでも心が落ち着き、いろいろなスポーツもできる。

そして、「星空」。ネオンはないが、星は降るほど。寝そべて空を眺めれば、どんな悩みも小さく思える。

あとは、「人」。湯梨浜人は、基本的にウエルカム気質だ。身近な人も大切にすると、他所からの人にも優しい。

座右の銘は、『当り遠迎当如敬仏』。

意味を知りたければ、レストラン吉華の料理人を訪ねよう。

レストラン吉華

吉岡学

ゆるゆる、

ゆるり

はり  
ま

